

1 模擬保育について 〈 幼稚園教諭等 〉

- (1) 下表に示す「模擬保育の内容」について、15人～20人程度の幼児がいる保育室を想定し、模擬保育を実施してください。
- (2) 模擬保育の時間は、6分間とします。なお、模擬保育開始前に、模擬保育をする具体的な場面や対象幼児（年少・年中・年長）の設定を述べてください。
- (3) 幼児の反応や行動等を想定した模擬保育を行ってください。
- (4) 模擬保育では、受験者が準備したA4用紙1枚のメモ（様式は自由）のみ持ち込み可とします。メモを見ながら模擬保育を行っても構いません。なお、模擬保育後メモは回収しません。また、その他の持ち込みはできません。
- (5) 模擬保育終了後に、試験員が質問をしますので答えてください。

区 分	模擬保育の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般 ・ 特別支援教育推進 	1 心身の健康に関する領域「健康」 (8) 幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。

2 模擬授業について 〈 小学校教諭等・中学校教諭等・中高共通・高等学校教諭等 〉

- (1) 第一次選考試験に合格した「校種・受験区分・教科」において、次表（P2～4）に示す「模擬授業の内容」について、20人～30人程度の児童・生徒がいる教室を想定し、模擬授業を実施してください。なお、特別支援教育推進の受験者は、2人の児童・生徒を想定して実施してください。
- (2) 小学校教諭等（一般・外国語教育推進）の受験者は国語または算数のいずれか1つを、中高共通（国語・英語）の受験者は中学校または高等学校のいずれか1つを選び実施してください。なお、模擬授業開始前に選択した教科又は校種を述べてください。
また、特別支援教育推進の受験者は、模擬授業開始前に対象児童・生徒（学年等）の設定を述べてください。
- (3) 模擬授業の時間は、10分間とします。導入部分を含め、授業を行ってください。
- (4) 児童・生徒の反応等を取り入れた模擬授業を行ってください。
- (5) 黒板またはホワイトボードを使用し、必ず板書を行ってください。
- (6) 試験室は、チョーク（白・黄・赤）またはホワイトボードマーカー（黒・赤・青）、板書用の三角定規1本を準備していますので、ご自由にお使いください。また、音楽はピアノを、保健体育はバトンを準備していますので、ご自由にお使いください。
- (7) 模擬授業では、受験者が準備したA4用紙1枚のメモ（様式は自由）のみ持ち込み可とします。メモを見ながら模擬授業を行っても構いません。なお、模擬授業後メモは回収しません。また、その他の持ち込みはできません。
- (8) 模擬授業終了後に、試験員が質問をしますので答えてください。

〈 小学校教諭等 〉

区分	教科等	模擬授業の内容
・ 一般 ・ 外国語 教育推進	国語	【第2学年】 「B 書くこと」 (1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。 ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。
	算数	【第5学年】 A 数と計算 (4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。 オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。
特別支援 教育推進	生活	【健康・安全】 3段階(2) 健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活をするように心掛ける。 ※ 2人の児童を想定した模擬授業を行ってください。

〈 中学校教諭等 〉

区分	教科等	模擬授業の内容
一般	社会	【歴史的分野】 (2) 古代までの日本 ア 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。
一般	数学	【第3学年】 A 数と式 (3) 二次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。 エ 二次方程式を具体的な場面で活用すること。
一般	理科	【第1分野】 (5) 運動とエネルギー ア 運動の規則性 (ア) 力のつり合い 物体に働く2力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を見いだすこと。また、力の合成と分解についての実験を行い、合力や分力の規則性を理解すること。
一般	音楽	【第2学年及び第3学年】 (1) A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。
一般	美術	【第1学年】 A 表現 (3) 発想や構想をしたことなどを基に表現する活動を通して、技能に関する次の事項を指導する。 ア 形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現すること。

区分	教科等	模擬授業の内容
一般	保健体育	<p>【第3学年】 C 陸上競技</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにするなどして速く走ること。</p>
一般	技術	<p>A 材料と加工に関する技術</p> <p>(3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。</p>
一般	家庭	<p>C 衣生活・住生活と自立</p> <p>(3) 衣生活、住生活などの生活の工夫について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。</p>
特別支援教育推進	自立活動	<p>1 健康の保持</p> <p>(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。</p> <p>※ 2人の生徒を想定した模擬授業を行ってください。</p>

〈 中高共通 〉

区分(教科)	校種	模擬授業の内容
一般 (国語)	中学校	<p>【第1学年】 「A 話すこと・聞くこと」</p> <p>(1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。</p> <p>ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。</p>
	高等学校	<p>【国語表現】</p> <p>ア 話題や題材に応じた情報を基に、考えをまとめ、深めることに関する指導事項</p> <p>ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。</p>
一般 (英語)	中学校	<p>(1) 言語活動</p> <p>ア 聞くこと</p> <p>(エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。</p>
	高等学校	<p>【英語表現Ⅰ】</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p>ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p>

〈 高等学校教諭等 〉

教科	模擬授業の内容
商業	<p>【ビジネス実務】 (1) オフィス実務</p> <p>ア 企業の組織と仕事</p> <p>職業人としての望ましい心構えや良好な人間関係を構築することの必要性、職場における人間関係と接し方が仕事に及ぼす影響及びチームとして働くことの意義について考察させる。</p>

3 模擬指導について 〈 養護教諭等・栄養教諭 〉

- (1) 第一次選考試験に合格した職種において、下表に示す「模擬指導の内容」について、20人～30人程度の児童・生徒がいる教室を想定し、模擬指導を実施してください。
- (2) 模擬指導開始前に、対象学年の設定を述べてください。
- (3) 模擬指導の時間は、10分間とします。
- (4) 児童・生徒の反応等を取り入れた模擬指導を行ってください。
- (5) 黒板を使用し、必ず板書を行ってください。
- (6) 試験室は、チョーク（白・黄・赤）、板書用の三角定規1本を準備していますので、ご自由にお使いください。
- (7) 模擬指導では、受験者が準備したA4用紙1枚のメモ（様式は自由）のみ持ち込み可とします。メモを見ながら模擬指導を行っても構いません。なお、模擬指導後メモは回収しません。また、その他の持ち込みはできません。
- (8) 模擬指導終了後に、試験員が質問をしますので答えてください。

〈 養護教諭等 〉

校種	模擬指導の内容
中学校	<p>【保健分野】 (4) 健康な生活と疾病の予防</p> <p>(4) 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。</p> <p>ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生すること。</p>

〈 栄養教諭 〉

校種	模擬指導の内容
小学校	<p>【給食の時間における食に関する指導】</p> <p>(2) 給食の時間における食に関する指導の内容</p> <p>④ 食事環境の整備</p> <p>(ア) 食事にふさわしい環境を整え、ゆとりある落ち着いた雰囲気ですぐに食事ができる。</p>